

「Excel VBA のプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本」 正誤表

- 97 ページ 本文 下から 9 行目
【誤】 「ClearContetns」
【正】 「ClearContent**s**」

- 105 ページ 図 2 文字列
【誤】 "円です。
【正】 "円です。"

- 109 ページ 本文 1 行目
【誤】 文字連結演算子
【正】 文字**列**連結演算子

- 113 ページ 図 4 右側コード 1 行目
【誤】 If Range("A1").Value >= 10
【正】 If Range("A1").Value >= 10 **Then**

- 121 ページ 図 6 下段
【誤】 「[Very Good] と表示」 「[Good] と表示」 「[OK] と表示」
【正】 「**[Good]** と表示」 「**[Very Good]** と表示」 「[OK] と表示」
※ 「[Good] と表示」 が左側へ、「[Very Good] と表示」 が中央になります。

- 123 ページ 表 1 最終行
【誤】 Case Is =< 5
【正】 Case Is <=**5**

- 123 ページ 下段 コード 1 行目
【誤】 Select Case Range(A1).Value
【正】 Select Case Range(**"A1"**).Value

- 124 ページ 本文 6 行目
【誤】 「**大**当たり」と表示されず、
【正】 「**当**たり」と表示されず、

- 126 ページ 本文 最終行
【誤】 文字色を青に設定する。
【正】 文字色を**赤**に設定する。

- 149 ページ 図 7 見出し
【誤】 初期値を「1」、最終値を「10」、増加値を「-1」と設定した場合
【正】 初期値を「**10**」、最終値を「**1**」、増加値を「-1」と設定した場合

- 161 ページ 図 1 STEP1 のコード 2 行目
【誤】 Rang("E4").Font.Color = vbBlack
【正】 Range(**"E4"**).Font.Color = vbBlack

- 168 ページ 本文 下から 3 行目
【誤】 ただし、同じデータ型の変数を複数宣言する場合は、次のように 1 行で記述することも可能です。変数名を「,」（カンマ）で区切って並べて記述します。
【正】 **また、複数の変数の宣言を**次のように 1 行で記述することも可能です。変数名**とそのデータ型**を「,」（カンマ）で区切って並べて記述します。

- 169 ページ 枠内 1 行目
【誤】 Dim 変数名 1, 変数名 2 As データ型
【正】 Dim 変数名 1 **As データ型 1**, 変数名 2 **As データ型 2**

●184 ページ 本文 3行目
【誤】 対象セルの列を進めています。
【正】 対象セルの行を進めています。

●203 ページ 画面 1 小計の説明内の式
【誤】 =SUM(E12:E34)
【正】 =SUM(E12:E50)

●238 ページ 図 10 図内
【誤】 .Range(E12,E18).Formula =
【正】 .Range("E12:E18").Formula =

●254 ページ 本文 5行目
【追加】 5行目本文『「As」に続けてデータ型を指定します。』に続けて以下の文を追加します。

さらに、標準モジュール冒頭（P 167 参照）に、「Option Base 1」と記述します。

●255 ページ 本文 図 5 の下
【追加】 図 5 の下に以下の本文を追加します。

前ページで「Option Base 1」としておくことで、本来、インデックス番号が「0」から始まるところを、「1」から始まるように設定できます。

●256 ページ 中段 枠内の「UserForm_Initialize」プロシージャ
【追加】 枠内のソースコード 1 行目に「Option Base 1」を追加します。

Option Base 1
Private Sub UserForm_Initialize()
Dim Sentakushi(4) As String
(以下、省略)

●262 ページ 図 1 プロジェクトエクスプローラからの矢線の指す位置
【誤】 Sheet1(販売) → ブック
Sheet2(請求書) → ワークシート「販売」
ThisWorkbook → ワークシート「請求書雛型」
【正】 Sheet1(販売) → ワークシート「販売」
Sheet2(請求書) → ワークシート「請求書雛型」
ThisWorkbook → ブック

●264 ページ 本文 1~3行目
【訂正】 変数「Kokyaku」への置き換えに関する記述は 7-4 節ですので、以下の文と差し替えます。

「販売管理」は 7-4 節までに「請求書作成」プロシージャを作成し、「A 商事」という記述で顧客の文字列を直接指定していた部分を変数「Kokyaku」に置き換えたところまで作りました。7-5 節では「請求書作成」プロシージャの作成をいったんストップし、ユーザーフォームを利用して目的の顧客を選択するドロップダウンを作成しました。

●282 ページ 上の図
【誤】 基点セル：A1→B2
【正】 基点セル：A1→B3

<本書サポートサイト>
<http://www.shuwasystem.co.jp/books/7980/1797-3/1797-3.html>

<秀和システム>
<http://www.shuwasystem.co.jp/>